



タイトルデザインもリニューアルし、本誌も 5 周年を迎えました。法学類月報第 58 号では、法務研究科の長瀬貴志先生のエッセイ、法と教育学会での発表、法学類 1 年生からの寄稿、教員人事のお知らせをお届けします。

◆◆教員エッセイ◆◆ 第 23 回 長瀬貴志先生（法務研究科・民事実務）

◆ 自身を考える

私が法務研究科に勤務するようになって 2 年半が経ちました。大学に出入りしていると、金沢大学が母校ということもあって、何だか若返ったような気にもなり、学生時代に司法試験合格に向けて中央図書館に籠もって勉強していたり、当時の彼女を怒らせて、危うく車に轢かれそうになったことなどを思い出したりすることが多くなりました。

かたや、現在を省みるに、当時の自分からどれだけ成長したのだろうかと疑問に思うことも多々出てきました。月日は確実に流れ、それ相応の経験もしてきたつもりなのですが、今までの足跡を振り返った時、どれだけ人様のお役に立ってきたのだろうか、自分の価値は何だったのだろうか、多少心許ない心境になり、いろんな本を手当たり次第読むようになりました。

そんな時、「ぼくたちに、もうモノはもう必要ない。」（佐々木典士著 ワニブックス）という本を読みました。表面的には一昔前に流行った断捨離やミニマリスト（極限まで自分に必要なモノが何かを考えてこれを実践する人）の本なのですが、その思考は「自分とは何か」「自分の価値は何か」といった、自分の本質を考える上でも非常に参考となりました。

余計なモノをそぎ落とした先の本当の自分を見たくないですか？もし人生や就職活動に悩んだら、この本をじっくり読んでみられればいかがでしょうか。人生変わるかもしれませんよ。

「法と教育学会で報告を行いました」

Current News
最近の出来事から

9 月 2 日に明治大学で開催された法と教育学会の分科会で「校則」をテーマに報告をさせていただきました。法友会で実施した法教育の教材作りと実践授業の過程や成果についての報告です。

昨今では厳しすぎる校則が話題になっていますが、私も数年前まで高校生だったので関心を持っていました。法友会では 2017 年度に中高生を対象とする校則を題材としてルール必要性、正当性について考えさせる教材を作成し、3 回の授業を実践しました。中高生の興味関心も高く、それ故に理解度も高かったようで、想定していた以上の成果を挙げるこ

ができました。

以上のような内容についての報告でしたが、多くの研究者や、弁護士、教育関係者の方々が発表に興味をもって下さり、分科会の会場が満員になるなど、大変好評でした。質疑応答でも「校則」に関する質問がとても多く、私たち以外にも「校則」に対して問題意識を抱いている方がいるということを感じました。また、私も今後校則に対する理解をさらに深め、問題解決に向けて精力的に活動していきたいと思えます。



法学類3年 金子朋矢



入学からの半年を振り返って

大学に入学してから半年が経ち、今までの大学生活を振り返ってみると、高校までの生活と比べて学内外ともに様々な面で違いがあり、その違いに慣れることに必死だったように感じます。

学内での違いで特に大きいと感じたことは、英語の学び方です。大学での英語講義であるEAPでは、高校までの授業とは違い、ただ英単語や文法を覚えるだけではなく、英語でパラグラフを書く練習や英語でプレゼンテーションを行う練習など、社会に出るにあたり直接必要になってくるような実践的な英語を鍛えていくものとなっています。また、GS科目など英語以外の科目にも英語クラス

が用意されており、文理問わず様々な科目の講義を英語で聞き、グループディスカッションを通して学生同士で講義内容について英語で意見を交換し合うことができます。このように、大学での英語の学びは、高校までの授業における「英語を覚える」ためのものから発展し、「英語を使う」ためのものになったように感じます。

こうした変化にも少しずつ慣れてきたところではありますが、これからは専門科目の時間数も増え、内容もより深いものとなっていくので、一層気を引き締めて、大学生活を送っていきたいと考えます。

法学類1年 内田 昇吾

教員人事のお知らせ



9月1日付で尾島茂樹教授（民法）が法科大学院に着任されました。法学類では、民法第二部などをご担当頂きます。9月30日付で山本竜大教授（政治コミュニケーション論）が名古屋大学大学院情報学研究科に異動されました。10月1日付で本田哲也講師（政治社会学）、脇田将典講師（商法）が法学類に着任されました。

法学類HP
^ GO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。
(<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>)
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。